

日本臨床皮膚科医会雑誌投稿規定 (2025年7月改訂)

投稿資格

筆頭著者ならびに共著者は、投稿年度までの会費を納入した本会会員に限る。ただし編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

原稿の種類

日常の診療に役立つ症例、治療、統計などに関する論文を原著として受け付ける。ただし、査読の結果、原著とみなすことができない場合は、総説として掲載することがある。

未承認の薬剤の臨床試験に関する論文は原則として受理しない。

原稿の受付と査読

原稿はすべて未発表のものに限る。

投稿に際しては①連絡用紙、②利益相反に関する開示書、③著作権に関する承諾書、④英文校正証明書を添付すること。

原稿は全てのページをMicrosoft Wordにて作成し記録媒体（CD-RまたはUSBフラッシュメモリー）に保存し送付すること。記録媒体は原則として返却しない。また同時にプリントアウト（ハードコピー）を3部同封すること。

原稿の送り先は下記とする。必ず書留便、特定記録、宅配便等配達確認できる方法で送付すること。

送付先：〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3-17 双葉ビル4階 Tel 03(3221)0798

日本臨床皮膚科医会 編集委員会

受け付けた原稿の掲載の採否は、編集委員会において査読を行い決定する。必要に応じ、修正を要求することがある。

掲載が決定した原稿は、図、表（オリジナルファイル）とともにデジタルデータを送付すること。

投稿の際の注意

個人情報保護

個人を同定できる内容を含まないよう留意し個人情報を保護する。

例えば、症例報告では初診年月日は月までとし、日付は削除、以後は初診から○日後、術後○週間などとする。写真では本人と同定できないよう目隠しをする。

倫理的配慮

ヒトに係る研究については、厚生労働省・文部科学省・経済産業省が作成した「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および世界医師会の「ヘルシンキ宣言」に準拠し、患者または被検者の人権を損なうことのないように十分に配慮されたものでなければならない。

「人を対象とする生命科学・医学系研究」に該当する場合には（「臨床研究」と呼ばれているものは通常該当する）、研究開始前に厚生労働省の「研究倫理審査委員会報告システム」に登録されている倫理審査委員会の審査と承認を受ける必要がある。倫理審査に関する内容（倫理審査委員会名、承認番号、承認日）を連絡用紙および論文中の「方法」の項に明記すること。記載されていない論文は受理できない。患者からインフォームドコンセントを取得している場合は、その旨を論文中の「方法」の項に明記すること。

- 1) 「○○の有効性を検討した」、「安全性を検討した」、「○○群と○○群を比較した」、「20例のうち、8例を対象とした」、「使用した患者の平均年齢は○歳」という内容や、「○○の検討」という論文の題名は一般的に症例報告には該当せず、「人を対象とする生命科学・医学系研究」として倫理審査が必要である。その一方で、「○○の症例を経験した」、「有効な症例を経験した」、「本症例では安全に使用できた」などの記載は症例報告の範疇である（倫理審査は不要）。最終的には編集委員会で判断する。
- 2) 患者アンケートなども「人を対象とする生命科学・医学系研究」に該当するため、事前に倫理審査委員会の審査と承認が必要である。

利益相反

投稿に際して利益相反に関する開示書（別紙1）を提出すること。投稿論文の内容に関して、投稿時から遡って過去3年以内における著者と利害関係のある企業、団体等の有無、ならびにある場合にはその詳細を開示すること。また、その内容は本文末尾に記載すること。投稿原稿が薬剤や医療機器を含む内容であり、当該薬剤や医療機器もしくはそれらと競合するものの製造業者などの利害関係者が著者に含まれる場合、あるいは、それらの業者等からの資金提供を受けている場合、そのことを明記すること。また、第3者からの資金提供についても明記すること。なお、必要により編集委員会から利益相反の詳細を求めることがある。

COIがない場合には「開示すべきCOIはない。」と記載する。

再投稿

査読に対する修正論文の再投稿は、2ヶ月以内とする。修正原稿には修正箇所を赤文字と下線で明示する。また、査読意見に対する回答や修正内容を簡潔に記した書面を添付すること。査読コメントに対する回答は査読者それぞれに対して個別に作成すること。なお、修正原稿については電子メールでも受け付ける。

掲載料と別刷

掲載料は無料とする。

別刷は30部までを無料配布とし、30部を超える部分については実費作成する。

校正

著者校正は1回とする。誤植など字句の誤りを修正するのみとし、内容の書きかえは認めない。

書式

原著は文献など全てを含み10,000文字以内とする。図表1枚は220字（5×7cm）に換算する。フォントはMS明朝もしくはMSゴシックで12ptとする。

ページ設定：A4版用紙縦、40字×25行（1ページ1,000文字）、上下左右25mmの余白、横書き一段組で記す。ページの右下に通し番号、左側に各頁ごとに行番号を設定し付けること。

投稿原稿の編綴順

①連絡用紙：論文の種類（原著など）、題名（和文と英文）、ランニングタイトル（和文20文字以内）、著者名（和文と英文）、著者の所属施設（和文と英文）、本文原稿の文字数、写真、図、表毎の各枚数、紙媒体の別刷の希望と部数、責任著者の連絡先（氏名、住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス）

②2枚目にタイトルページ：題名（和文）、および責任著者名

③3枚目に要旨：和文要旨（800文字以内）、キーワード（3～5語以内）

④英文要旨（300words以内）：題名、著者全員の英文名、英文Key words（3～5個）

⑤5枚目より本文を開始する

⑥次に文献のページ

⑦表のページ（1ページにつき1枚の表を貼付。表の上に表の番号とタイトルを付ける）

⑧図のページ（1ページに1枚の図。図の下に図の番号とタイトル、説明を付ける）

添付1 英文校正証明書

添付2 利益相反に関する開示書

添付3 著作権に関する承諾書

図や写真是ppt(x), jpg, tiff, gifなどのできるだけオリジナルに近いファイルが望ましい。図は明瞭なものとし、図中に文字、記号等が入る場合は、縮小されても判読できるかどうかを考慮して原図を作ること。写真是300dpi以上の解像度であること。組織写真是染色法と倍率を図の説明文に明記する。すでに刊行されている雑誌や著書から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから引用・転載許可を得た上で、許諾書のコピーを添付し、出典を明記する。出典の表記は文献表記に準じる。図表とも本文への挿入箇所を（図1）、（表3）などと明記する。表はMicrosoft社のExcelまたはWordで作成することが望ましい。

文体は常体（「だ・である調」）で、英字・数字は半角とする。年号は西暦で記載する。外国人名、地名は原字で書くこと。英学名はイタリック体で（例：*P.acnes*），固有名詞以外は、文頭にならない限り語頭は小文字とする。略語を用いる場合は、要旨・本文のそれぞれの初出でフルスペルを記載すること。

検査値、単位などは項目、半角スペース、半角数字、半角スペース、半角単位を基本とする。リットルは大文字とする。例：WBC 8900 / μ L, Na 135 mg/dL, AST 52 IU/L, 23 cm, 薬剤名ははじめに一般名を表記し、商品名は右肩に[®]を付け括弧内に入る。

例：ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏（アンテベート[®]軟膏）

英文要約は、和文要約と内容を一致させること。英文要約はネイティブチェックを受け、英文校正証明書を添付すること。その費用は筆者の負担とする。なお、業者は特に指定しないが、不明な点は編集委員会に問い合わせること。

文献

文献は重要なもののみにとどめ、本文の引用箇所に順次番号をつけ、本文の末尾に、一括して記載する。

雑誌

著者名（3名以下は全員、4名以上では筆頭著者のみとし、「ほか」または「et al」と略す）；題名。雑誌名略称（欧文誌名の略称はIndex Medicusによる。邦文誌は表紙記載の略称を用いる。記載のないものは雑誌名そのままを用いる）発行年；巻：最初頁-最終頁。の順に記載すること。雑誌略称の後の「ドット(.)」は不要。終頁の数字は略さないこと。ドット(.)、コロン(,:)、セミコロン(:)のあとは半角スペースを入れる。「Epub ahead of print」の場合には、DOI（Digital Object Identifier）を記載する。ただし巻・頁が確定している場合は、それらを記載し、DOIは記載しない。

書籍

著者名：章などの題名；編者名（編者は2名以内の記載とし、それ以外は「ほか」あるいは「et al」で略す），書名、引用巻、版数、出版社名、発行地、発行年、引用初頁-引用終頁。の順で記載する。

インターネット上でのみ公開されている文献

URLとともに文献公開年月日（不明な場合は取得年月日）記載する。なお、出版物としても刊行されている場合は、出版物（雑誌、書籍）として記載する。

記載例

・雑誌（邦文）常深祐一郎：外用抗真菌薬の最小殺真菌濃度とfingertip unitによる外用量の考え方。日臨皮会誌 2011; 28: 148-149.

（欧文）Tsunemi Y et al: CCL17 transgenic mice show an enhanced Th2-type response to both allergic and non-allergic stimuli. Eur J Immunol 2006; 36: 2116-2127.

（Epub ahead of print）

Tsunemi Y, Hiruma M: Clinical study of Dermatophyte Test Strip, an immunochromatographic method, to detect tinea unguium dermatophytes. J Dermatol 2016; doi: 10.1111/1346-8138.13348. [Epub ahead of print]

・書籍（邦文）常深祐一郎、中村晃一郎：白色粊糠疹；玉置邦彦編、最新皮膚科学大系、第3巻、第1版、中山書店、東京、2002, 68-70.

（欧文）Tsunemi Y, Ishibashi Y: X-linked Ichthyosis; Ogawa H et al ed, The Color Atlas of Disorders of Keratinization, 2nd ed, Kyowa Kikaku LTD, Tokyo, 2011, 65-66.

著作権

日本臨床皮膚科医会雑誌に掲載された論文の著作権は、日本臨床皮膚科医会に帰属する。本誌掲載後は他誌への転載を禁ずる。著作権に関する承諾書（別紙2）に著者全員が署名、捺印の上、提出すること。原則として論文は、J-STAGEを通じて一般サイト上に公開される。

※投稿時チェックリストも参照下さい。



日本臨床皮膚科医会雑誌投稿の編綴順とチェックリスト

1. 本誌に論文を投稿するにあたっては、全てのページをMicrosoft Word[®] にて作成してください（A4縦）。
2. 各ページの振り分け（全ての□に、確認後に✓マークを記入してください）
 - 1) 著作権に関する承諾書
 - 2) 利益相反(COI)に関する開示書
 - 3) 倫理指針
 - 4) 連絡用紙
 - 5) 英文校正証明書
 - 6) タイトルページ（ここから論文本体の開始になります）
 - 7) 日本語要旨
 - 8) 英文要旨
 - 9) 本文
 - 10) 表（1ページにつき1枚の表、表の上にタイトルを付ける）
 - 11) 図（1ページにつき1枚の図、図の下にタイトル、説明を付ける）

※全ての項目が確認できましたら、ご投稿をお願いいたします。

利益相反 (COI) に関する開示書

著者名：

論文の題名：

1. 表記論文の内容について、他者との利害関係（論文に関連する著者へのあらゆる便宜供与を含む）は一切ありません。
2. 表記論文の内容について、他者との利害関係がありますので、以下に詳細に明示します。またその旨を論文中にも明示します。

投稿時点から過去3年以内の期間を対象

項目	該当の状況	有であれば、著者名・企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
② 株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から、医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑦ 奨学(奨励)寄附金などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄附金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄附講座 実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑨ 旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後所定の期間保管されます)

(申告日) 年 月 日

Corresponding author (署名) _____ (印)

- ・ 1又は2のあてはまるものに○をつけ、必要事項を記載すること。
- ・ 筆頭著者は上記につき、**共著者全員**に確認し、責任をもって署名・捺印すること。

著作権に関する承諾書

私は、下記論文を日本臨床皮膚科医会雑誌に投稿するにあたり、投稿規定に定める著作権規定により、下記論文が掲載決定された後はその著作権が日本臨床皮膚科医会に帰属することを承諾します。なお、同一内容の論文は他誌に未発表であり、今後も発表しないことを誓約致します。

記

著者名：

論文の題名：

年 月 日

所属

氏名

(印)

- ・全著者が署名・捺印すること。
- ・この用紙をコピーして複数使用してもよい。
- ・なお、共著者が署名捺印したものを筆頭著者へFAXやPDFで送信し、筆頭著者はそれらを出力して投稿してもよい。